



障害者教育総論			単位数	履修方法	配当年次
			2	R or SR	2年以上
科目コード	ED3718	担当教員	辻 誠一		

※平成29年11月までに履修登録し，平成31年3月までに単位修得してください。

※RorSR科目ですが，平成28年度以降スクーリングは開講いたしません。

※平成26年度までの入学者と，平成27年度2・3年次編入学者・科目等履修生，平成28年度4月生3年次編入学者のみが履修登録可能です。

■科目の内容

特別支援教育は，特別な教育ではなく，全ての教育の基礎となる「当たり前の教育」です。そして，「障害」とは，特別なことではなく，差別されるものでもありません。

障害者教育総論を学ぶことは，人間の本質に迫り，「人間の生き方」理解に繋がる重要な学習です。

現在，障害児者を取り巻く教育情勢は，特殊教育から特別支援教育へと姿を変え，インクルーシブ教育実現に向け大きく変化しています。

そこで，この科目では，障害者教育の歴史を踏まえ，現在の特別支援教育の制度，障害の特性，障害者教育の実際と現状について具体的に学習します。

習得するにあたっては，実際に障害者教育の場を見学するなど，障害者及び障害者教育について，体験的に理解を深めることが大切です。また，法律の改正や教育内容方法の改善等の新しい情報についても関心を示し理解を深めることが重要です。

■到達目標

- 1) 特別支援教育の理念や制度の概要について説明できる。
- 2) 視覚障害教育，聴覚障害教育等，各障害の歴史や現状について説明できる。
- 3) 視覚障害者，聴覚障害者等，各障害者の特性や具体的指導について説明できる。
- 4) 特別支援学校及び小・中学校における特別支援教育の取組の実際について説明できる。

■教科書

佐藤泰正編『特別支援教育概説 改訂版』学芸図書，2011年

(最近の教科書変更時期) 2011年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学習のポイント
1	特別支援教育の制度	<ul style="list-style-type: none"> ・障害とは ・障害児教育の歴史 ・特別支援教育制度の理念及び概要 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の基本的な考え方を熟読し，特殊教育から特別支援教育への理念を説明できる。

回数	テーマ	学習内容	学習のポイント
2	特別支援教育の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の取組の現状 ・宮城県の取組の現状 ・実施上の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の全国の取組の現状や課題を説明できる。
3	視覚障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
4	聴覚障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
5	知的障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
6	肢体不自由（運動障害）教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
7	病弱・身体虚弱教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・病虚弱児教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
8	言語障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語障害教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
9	自閉症・情緒障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒障害教育の歴史を熟読し、特性や指導の実際を理解し説明できる。
10	重複障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び宮城の歴史 ・特性（定義や分類等） ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・重複障害教育の指導の実際について理解し説明できる。
11	発達障害教育	<ul style="list-style-type: none"> ・LD, ADHD, 高機能自閉症等の定義と実態把握 ・個別の指導計画の作成 ・指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・LD, ADHD, 高機能自閉症等の定義や実態把握の方法を熟読し、個別の指導計画作成方法や指導のあり方を理解し説明できる。
12	学校現場の実際① 特別支援学校における教育Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の実際及び課題① ※小中高等部の概要 ※教育課程の編成 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の取組概要を理解し、教育課程編成のあり方を理解し説明できる。
13	学校現場の実際② 特別支援学校における教育Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の実際及び課題② ・センター的機能 ・医療的ケア・進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校におけるセンター的機能の実際や医療的ケアおよび進路指導の現状を理解し説明できる。
14	学校現場の実際③ 小・中学校における特別支援教育Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の全校体制 ・通常の学級、特別支援学級及び通級指導教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における特別支援教育の現状を理解し、概要を説明できる。
15	学校現場の実際④ 小・中学校における特別支援教育Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・全国及び宮城の動向 ・指導の実際及び課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における特別支援教育の全国及び宮城の動向を把握し、指導の実際および課題を説明できる。

(注) 平成21年度よりこの科目のスクーリングは6コマ、スクーリング単位=1単位に変更になりました。

そのため、障害者教育総論(2単位)の受講者で、平成20年度までの12コマのスクーリングを受講済みの方(スクーリング単位=2単位)の科目コードをEJ3717に変更いたしました。学生の方にご留意いただく点はありません。ご安心ください。

■レポート課題

1 単位め	「知的障害者の特性と実態に応じた指導法の工夫」について具体的に述べなさい。
2 単位め	特別支援教育の制度を踏まえ、自分の考えを入れながら、「特別支援学校のセンター的機能のあるべき姿」について具体的に述べなさい。

(平成26年度以前履修登録者) 2015年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2013』記載の課題は2015年9月末で受付を締め切りました。『レポート課題集2014』記載の課題は2016年3月末まで提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

各課題について、教科書及び参考図書等をよく読み、自分の言葉で、具体例を入れながら論述してください。

1単位め アドバイス

全体的な発達の遅れや社会生活経験の乏しさからくる障害特性を整理し、例を挙げ、具体的な指導法の工夫を述べるのが大切です。

見学した学校がある場合は、その概要と感想を追加記述してください。

2単位め アドバイス

障害児教育の歴史を踏まえ、特別支援教育の理念を理解し、特別支援教育の制度やセンター的機能を論述するのが大切です。

特別支援学校のセンター的機能の取組や障害者の教育が実際どのように行われているのかを理解するため、特別支援学校や特別支援学級を設置している小・中学校のホームページを閲覧したり、実際に学校公開や文化祭、学習発表会、運動会などを見学するなどの体験をお勧めします。

■科目修了試験 評価基準

レポート(30%) + 科目修了試験(70%)です。

科目修了試験では、「4つの到達目標」に示してある事項から出題します。

教科書で学んだことを基に自分の考えを入れ論述できるかがポイントです。

■参考図書

- 1) 辻誠一著『子どもを見つめる事例研究の進め方』東洋館出版社、2011年
- 2) 辻誠一著『学生・若手教師のための特別支援教育のコツと技(実践編)』フィリア、2015年
- 3) テキストの各章末にある「引用及び参考文献」